

平成 22 年 4 月 30 日現在

研究種目：若手研究 (B)

研究期間：2007 ~ 2010

課題番号：19730217

研究課題名 (和文) 財政競争への参加問題

研究課題名 (英文) Participation problem in fiscal competition

研究代表者

小川 光 (OGAWA, Hikaru)

名古屋大学・大学院経済学研究科・准教授

研究者番号：10313967

研究代表者の専門分野：公共経済学

科研費の分科・細目：財政学・金融論

キーワード：財政競争、競争手段の選択、動学ゲーム、財政的外部性、スピルオーバー効果

1. 研究計画の概要

本研究では、先進諸国が繰り広げる財政競争へ新興国が参加することの経済的帰結を分析するためのモデルを構築することを目的としている。特に

- (1) 財政競争にそもそも参加すべきか否か、
- (2) どのような政策手段や財政制度を有して競争に参加すべきか、
- (3) 知識や技術、物的・人的資本といったストック量に格差がある中での財政競争はどのような帰結をもたらすか

という点を分析するためのモデル構築を計画している。

2. 研究の進捗状況

上記の研究計画を達成するために、古典的な財政競争モデルを 2 段階ゲームに拡張すると同時に、財政競争モデルの動学化を図って、地域特性を明示的に取り込んだモデルの提示を行って論文にまとめている。解析的分析が困難なモデルについては、不完全競争を前提とした部分均衡モデルにおける 2 国間競争環境下でのモデル分析を行っている。

(1)については、労働市場の効率性が異なる 2 国の政府が資本市場の開放に伴って財政競争に直面することになった場合に、労働市場の不完全性の度合いが大きい国の政府がより積極的に財政競争に参加するための介入を行う一方で、労働市場が相対的に効率的な国の政府は、そもそも財政競争に参加しないという結果をもたらすモデル化に成功するなどしている。

(2)については、競争手段として従量税制度と従価税制度の選択問題を設定することで、資本輸入国では従量税制度で財政競争に参

加するのが望ましい一方で、資本輸出国では、従価税制度で競争に参加することが望ましいことなどを明らかにできた。

(3)については、資本移動のある 2 国内成長モデルにおいて、財政競争を緩和するような地域間所得移転政策が経済成長に及ぼす効果を検証し、そこから中央政府による財政移転による介入がどの程度望ましいのかという視点で、地方分権と経済成長との関係にまで言及できるモデル構築を行うことができた。

3. 現在までの達成度

①当初の計画以上に進展している。

(1)と(3)については、研究成果が国際学術雑誌 *FinanzArchiv* や *American Economic Review* をはじめ、複数の国際誌に論文掲載されるなど、順調に研究目的が達成された。他方、(2)についても既にディスカッションペーパーとしてまとめた上で、国際学術雑誌へ投稿している段階であり、全体として、おおむね順調に推移している、もしくは、当初の計画以上に研究が進捗したといえる。

4. 今後の研究の推進方策

各種研究集会での研究発表とともに、ディスカッションペーパーの形などにまとめている論文を国際的な学術雑誌に掲載できるように、論文の投稿、査読者への対応等を中心に研究成果の公表のための作業を進める予定である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計8件)

1. Nobuo Akai, Hikaru Ogawa, and Yoshitomo Ogawa (2010), Endogenous Choice on Tax Instruments in a Tax Competition Model: Unit Tax versus Ad Valorem Tax, Discussion Papers in Economics & Business no.10-01, Osaka University. (査読無)
2. Hikaru Ogawa and Sayaka Yakita (2009), Equalization transfers, fiscal decentralization, and economic growth, *FinanzArchiv*, 65(1), 122-140. (査読有)
3. Hikaru Ogawa and David E. Wildasin (2009), Think locally, act locally: Spillovers, spillbacks, and efficient decentralized-policy making, *American Economic Review*, 99(4), 1206-1217. (査読有)
4. Lihua Han and Hikaru Ogawa (2009), Partial privatization, technology spillovers, and foreign ownership restriction, *Review of Urban and Regional Development Studies*, 21(1), 37-49. (査読有)
5. Tohru Naito and Hikaru Ogawa (2009), Direct versus indirect environmental regulation in the partially privatized mixed duopoly, *Environmental Economics and Policy Studies*, 10(2) 87-100. (査読有)
6. Lihua Han and Hikaru Ogawa (2008), Economic integration and strategic privatization in an international mixed oligopoly, *FinanzArchiv*, 64(3), 352-363. (査読有)
7. Hikaru Ogawa and Mitsuhiro Yano (2007), Local public debt with overlapping generations, *Economics of Governance*, 8(1), 51-59. (査読有)
8. Hikaru Ogawa and Yasuo Sanjo (2007), Location of public firm in the presence of multinational firm: A mixed duopoly approach, *Australian Economic Papers*, 46(2), 191-203. (査読有)

[学会発表] (計9件)

1. Koji Kitaura, Hikaru Ogawa, and Sayaka Yakita, Bifurcation arising from the Donor's Aid Policy in Economic Development, All China Economics International Conference (Hong Kong, China, 2009年12月)
2. Nobuo Akai, Hikaru Ogawa, and Yoshitomo Ogawa, Endogenous Choice on

Tax Instruments in a Tax Competition Model, 日本財政学会全国大会(明治学院大学, 2009年10月)

3. Wolfgang Eggert, Hikaru Ogawa, and Keisuke Kawachi, Asymmetric tax competition in a repeated game setting, 日本応用経済学会春季大会(名古屋大学, 2009年6月)
4. Hikaru Ogawa and Sayaka Yakita, Equalization transfers, fiscal decentralization, and economic growth, Annual Meeting of Association for Public Economic Theory (Seoul, Korea, 2008年6月)
5. Hikaru Ogawa and Junichi Nagami, Partial coordination in local debt policies, 日本応用経済学会春季大会(熊本学園大学, 2008年6月)
6. Hikaru Ogawa and Sayaka Yakita, Equalization transfers, fiscal decentralization, and economic growth, Annual Meeting of Western Regional Science Association (Hawaii Island, United States, 2008年2月)
7. Lihua Han and Hikaru Ogawa, Privatization and Market-opening policy, All China Economics International Conference (Hong Kong, China, 2007年12月)
8. Lihua Han and Hikaru Ogawa, Privatization and Market-opening policy, ARSC-RSAC Joint Conference on Applied Regional Science (Peking University, China, 2007年10月)
9. Hikaru Ogawa and David E. Wildasin, Think locally, act locally, 日本応用経済学会春季大会(長崎大学, 2007年6月)

[図書] (計1件)

1. 家森信善・小川光 (2007)、『基礎からわかるミクロ経済学 (第2版)』、中央経済社(全201ページ)